

茂木信太郎先生のご退職にあたって

To Commemorate Professor MOGI, Shintaro Retirement

高石 光一*

TAKAISI, Koichi

茂木信太郎先生は、2019（平成31）年3月31日をもって、亜細亜大学経営学部をご定年により退職されます。経営学部は、先生のご退職を記念して『ホスピタリティ・マネジメント』第9巻第1号を定年退職記念号として刊行し、これを謹んで茂木先生に献呈させていただく次第です。

茂木先生は、1948（昭和23）年静岡県にお生まれになりました。1971（昭和46）年に早稲田大学社会科学部社会科学科を卒業された後、法政大学大学院社会科学研究所修士課程を1978（昭和53）年に修了されました。そして、2010（平成22）年には立教大学から博士（観光学）の学位を取得されました。

1979（昭和54）年、(社)食品需給研究センターに研究員として勤務された後、(財)外食産業総合調査研究センター（外食総研）、フードシステム総合研究所を経て信州大学経済学部、信州大学経営大学院の正教員として、また、非常勤講師として立教大学、女子栄養大学、松本大学などで教鞭を執る傍ら、文部科学省海外研究員としてアメリカ・イタリアでの研究を進められました。

*本学経営学部長

亜細亜大学には、2009（平成21）年経営学部の新学科（ホスピタリティ・マネジメント学科）設立に伴い、教授として着任され、「フードサービスマネジメント論」「ホスピタリティ・マネジメント特別講義」などを担当されました。それ以降、教務主任として今日に至るまでホスピタリティ・マネジメント学科の発展に大変ご尽力いただきました。

茂木先生は、主にフードサービスの分野を中心にご研究と教育を推進されてきました。ご著書には、『フードサービスの教科書』（2017，創成社），『新版 食品の消費と流通』（2011，建帛社），『食の企業伝説』（2007，一草舎出版），『三訂フードスペシャリスト論』（2007，建帛社），『中小食品企業のマーケティング読本』（2006，農林統計協会）等多数あります。

学外でも、茂木先生は、これまで、日本フードシステム学会（国内学会）理事、長野市大型店出店事業計画審査委員会委員長、長野市産業振興審議会委員、農林水産省「優良外食産業表彰事業審査委員会」委員、(社)大阪外食産業協会（近畿経済

産業局)「フードサービス産業能力評価制度構築事業」検討委員会委員, (助広域関東圏産業活性化センター「定住促進委員会」委員長など数々の官公庁などで要職を歴任されました。また, 他学では, 信州大学イノベーション研究・支援センター大学等非常勤研究員, 信州大学大学院経済・社会政策科学研究科イノベーション・マネジメント専攻(経営大学院)客員教授, 松本大学大学院健康科学研究科非常勤講師も兼務されています。

茂木先生は, ファミリーレストラン, ファーストフード, 高級レストラン, ホテル, 食品製造機器メーカー等最前線で活躍するわが国を代表するフードサービスのトップとの広い人脈をお持ちです。そして, わが国のフードサービス産業と食文化の変遷をマクロ的かつミクロ的視点から見極め,

学術的研究レベルに発展させた立役者であります。

ホスピタリティ・マネジメント学科に集い喜々として学ぶ学生達からは, 近時の若者に希薄になりつつある感謝の気持ち, 礼節, 気配りなどを強く感じます。これら亜細亜大学の誇りである学生達は茂木先生が率いるホスピタリティ・マネジメント学科のしっかりしたポリシーの下に育っているのです。

私個人としても学部長として1年間という短い期間でしたが, 日々サポートをいただき本当に助かりました。茂木先生のきめ細かく, ご配慮に満ちた姿勢と行動から多くを学びました。感謝に堪えません。茂木先生, 長い間本当にありがとうございました。